

日本学校カウンセリング学会

Japanese School Counseling Association

学会・研修会(第31回大会)プログラム 生徒指導士認定協会) (共健 財団法人

学校現場で具体的に確実に使えるカウンセリング、生徒指導を提案している学会です。 児童生徒を効果的に指導したい、さらに高度の指導力を身につけたい、具体的な指導が知り たい、また自信のある指導をしたいとお考えの方に最適です。

平成28年1月9日(土) 掤 Ħ

摄 所 アスト津

〒514-0009 三重県津市羽所町700

参加対象 幼・小・中・高・大の数員、数委・研究所・センターの先生、学校心理士 生徒指導士・臨床心理士・スクールカウンセラー、その他

参加費 4000円

> 「学校心理士資格更新A)」(*午後の講習会が該当)は1p、 「生徒指導士及び学会認定ポイント」は1pとなります。

内容

口頭発表・講習会

受付

 $9:10 \sim 9:20$

午前 口頭発表

 $9:20\sim11:05$

教育セミナー 11:15~12:15

講師 赤間 英松先生

(大阪市教育委員会生活指導サポートセンター長

:元大阪市立小・中学校長 主席指導主事)

演題 「大阪方式による 新たな生活指導サポートセンターの活動紹介」

赤間英松先生は、大阪市教育委員会生活指導サポートセンター長です。橋下大阪 市長が勧めた大阪方式による、新しく創設された、独立した児童生徒指導サポート センターです。どのような活動をしているかを紹介をしてもらいます。問題行動を 抱える児童生徒を対象とした、日本ではじめての注目されている試みの学校であり、 たくさんの視察が入っています。

昼食

午後 講習会 $13:20 \sim 15:20$

学校心理士 A該当研修会です。

講師 青山 郁子先生 (静岡大学)

演題 「ネットいじめの予防と対処」

「ネットいじめ」という言葉が世に出てきて以来、教育現場は学校裏ネットパトロール、プロフィールサイト(プロフ)の監視など数年ごを求められてきた。近年はLINEのように外部からの監視が難しい閉じュティーでの交流でトラブルが多発している。このように次々と新しが世の中に出てくる状況では、教員や保護者の理解や対応が追いつかある。そこで本講演では、大人のマインドセットチェンジ,家庭と連り、予防教育、の三点からネットいじめ・トラブルについて議論する。

口頭発表

「自閉症スペクトラム傾向が高い大学生の

ストレス対処行動が精神的健康に及ぼす影響」 ····· 9:20~ 9:30 10分 市川 哲 (特別支援教育サポートセンター)

自閉症スペクトラムとは、自閉症の症状について、健常者と自閉症者との間に量的なスペクトラム(連続体)を仮定するものである。今日の大学には、自閉症スペクトラムとして医学的診断を受けた大学生だけでなく、高い自閉症スペクトラム傾向を示す大学生が数多く在籍しており、大学生活で苦戦を強いられている。そのような大学生が大学生活で出現したストレッサーに対して行うストレス対処行動は、精神的健康の改善にいかなる影響を及ぼしているのか。本発表では、その調査結果を報告する。

「個別の指導計画 (IEP)

~子どもたちの達成できる目標とデータ収集~』 …………… 9:30~ 9:40 10分石川 真史 (三重県立聾学校)

近年、データを基礎とした指導の重要性が求められるようになっている。今回は、あるデータを 見ながら、そのデータの取り方や活用方法、そしてデータを扱うことのポイントについて考えた い。

「思春期の子どもと親の支援

- 中学3年生女子の事例をとおして- ………………… 9:40~ 9:50 10分野呂 小夜子(皇學館大学大学院研究生)

父親の病気をきっかけにリストカットなどの問題が出始めた中学3年生Aとその母親への効果的な支援を探っていった事例。支援方法は母子並行面接とピアサポートを採用。生徒Aの問題を起こしている状態像(身体症状、精神症状、不適応、行動異常)の変化を援助過程をとおして検討していく。最終的に父親、母親、生徒Aの状態・行動変化が見られた。なおこの事例は私塾(学習塾)で行われたもので、私塾でも行える教育支援の方法を示した。

『授業理解を促進する視聴覚教材の重要性について

- 教職科目「職業指導」における講義から-」 ··········· 9:50~10:05 15分定金 浩一 (大阪産業大学)

教職科目「職業指導」は、商業、工業の免許を取るための必修科目である。「産業構造の変化」 の講義では、戦後から現代にいたる産業構造の変化と職業の変遷を講義し、職業理解に大変重要 な分野である。「産業構造の変化」の理解を促進するためには時代背景から職業の変遷を写した 視聴覚教材がいかに重要かを詳らかにする。

『不登校を激減させる方法 (6)

昨年度、小中学校において、不登校を激減させた学校の体制づくりや方法を紹介してきた。その中で、相談室(校内中間教室)での指導方法や利用体制を明らかにした。今回の発表では、この相談室を利用しなくてもよい方法の実例を発表・提案する。自己効力感教育法とタッチ登校を特別支援学級利用や行動教育を使った生徒指導での短期トレーニングによる登校しぶり児童の復活事例を紹介する。

『規範意識に基づく向社会性を高める

道徳教育と関連づけた生徒指導実践』 ………………10:35~11:05 30分中野 真悟 (刈谷市立小垣江東小学校)

中学2年は刑事責任年齢に達する年度である。近年子どもの規範意識の低下や凶悪犯罪の低年齢化が問題となっているが、規則は破らないが向社会的行動もとらず、個に閉じた価値観の中で生活する生徒の増加を感じている。生徒指導と道徳教育との関連づけを図ることで、規範意識に基づき、自発的に他者のためになることをしようとする向社会性をもった生徒を育てたいと考えた。

※大会または発表に関するお問い合わせは、日本学校カウンセリング学会事務局のメールにてお願いいたします (office.jsca@gmail.com [西口利文])。